

大学番号：私立069

注3

[令和2年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

認可

共立女子大学 ビジネス学部 ビジネス学科

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人共立女子学園

令和2年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 総合企画室

職名・氏名 トウカツツツョウ 統括室長 ヒロセ 廣瀬 タカヒロ 貴博

職名・氏名 シツイン 室員 クマクラ 熊倉 シュン 潤

電話番号 03-3237-2197

（夜間） 03-3237-2197

F A X 03-3237-2767

e-mail kumakura@kyoritsu-wu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## ビジネス学部

＜ビジネス学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	8
4. 既設大学等の状況	9
5. 教員組織の状況	10
6. 附帯事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	26

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人共立女子学園

## (2) 大学名

共立女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒101-8437

東京都千代田区一ツ橋二丁目2番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ミタライ ヤスシ) 御手洗 康 (現職就任年月 平成29年4月)		
学長	(カワクボ キヨシ) 川久保 清 (現職就任年月 平成30年4月)		
学部長	(ウエダ カズオ) 植田 和男 (現職就任年月 令和2年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)  
令和2年度に報告する内容 → (2)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
ビジネス学部 ビジネス学科 学士（ビジネス）	経済学関係	4年	150人	— 年次人	600人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度 令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告 年度までの平均 入学定員超過 率	備考
	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	150人 ( - ) [ - ]		1.12倍	- 倍	
志願者数	1292 ( - ) ( - ) [ - ] [ - ]	—			
受験者数	1242 ( - ) ( - ) [ - ] [ - ]	—			
合格者数	374 ( - ) ( - ) [ - ] [ - ]	—			
B 入学者数	168 ( - ) ( - ) [ - ] [ - ]	—			
入学定員超過率 B/A	1.12				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	
1年次	168 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
2年次	/		
3年次	/		
4年次	/		
計	168 [ - ] ( - )		

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( ) 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。



2 授業科目の概要

<ビジネス学部 ビジネス学科>

(1) - ① 授業科目表

【既修時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数					専任教員等の配置					兼任・兼任担任			
			必修	選択	自由	教	授	准教授	講師	助教	助手					
教養教育科目	基礎セミナー	1前	1			3	1	1								
	論理的思考・文章表現	1前	1													
	ライフプランと自己実現	1後	2				4	1								
	課題解決ワークショップ	1後	1													
	小計(4科目)		4	1	0	7	2	1	0	0	0	1				
	情報基礎	1前	2													
	情報処理	1前	2													
	情報の分析と活用A	1後	2			1										
	情報の分析と活用B	1後	2													
	小計(4科目)		2	6	0	1	0	0	0	0	0	4				
英語	英語A(リスニング・スピーキング)	1通	2											5		
	英語B(リーディング・ライティング)	1通	2											5		
	アドバンスト英語A(ビジネス口頭表現)	2通	2											5		
	アドバンスト英語B(ビジネス文章表現)	2通	2											5		
	アドバンスト英語C(TOEIC)	3通	2											2		
	小計(5科目)		1	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	10		
	初級外国語	フランス語Ⅰ(入門)	1前	2											1	
		フランス語Ⅱ(表現)	1後	2											1	
		応用フランス語(総合)	2通	2											1	
		中国語Ⅰ(入門)	1前	2											1	
中国語Ⅱ(表現)		1後	2											1		
応用中国語(総合)		2通	2											1		
ドイツ語Ⅰ(入門)		1前	2											1		
ドイツ語Ⅱ(表現)		1後	2											1		
応用ドイツ語(総合)		2通	2											1		
小計(17科目)			1	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	11		
人の教養を理解するための	日本の歴史を学ぶ	1前・後	2											1		
	世界の歴史を学ぶ	1前・後	2											1		
	人間と地理を学ぶ	1前・後	2											1		
	文学をひらく	1前・後	2											1		
	芸術をひらく	1前・後	2											1		
	心理学をひらく	1前・後	2											1		
	心身を学ぶ	1前・後	2											1		
	自己開発	1前・後	2											1		
	小計(8科目)		1	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	8		
	の社会を理解するための	法律を学ぶ(日本憲法)	1前・後	2											1	
法律を学ぶ(概論)		1前・後	2			1								1		
政治を学ぶ		1前・後	2											1		
倫理学とは何か		1前・後	2											1		
国際関係を学ぶ		1前・後	2											1		
地域社会と家族を学ぶ		1前・後	2											1		
経済を学ぶ		1前・後	2			1								1		
社会を学ぶ		1前・後	2											1		
小計(8科目)			1	0	16	0	2	0	0	0	0	0	0	6		
自然と地理を学ぶための		自然と地理を学ぶ	1前・後	2											1	
	数学への招待	1前・後	2											1		
	生物学への招待	1前・後	2											1		
	化学への招待	1前・後	2											1		
	小計(5科目)		1	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
	の健康を体感する	健康スポーツ実習A	1前・後	1											1	
		健康スポーツ実習B	1前・後	1											1	
		小計(2科目)		0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
		教養と社会の仕組	企業と社会の仕組	2前・後	2			3								1
			マーケティング	2前・後	2			1		1						1
女性の生き方と社会			2前・後	2											1	
小計(3科目)				0	6	0	4	0	1	0	0	1	0	0	1	
協働とリーダー			現代社会の諸課題(経済・産業)	2前・後	2			2								1
			現代社会の諸課題(環境・科学)	2前・後	2											1
			現代社会の諸課題(文化・芸術)	2前・後	2											1
	現代社会の諸課題(生活・地域)		2前・後	2											1	
	現代社会の諸課題(メディア・表現)		2前・後	2											1	
	小計(5科目)			0	10	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4	
	演習実習	教養総合ワークショップA	1通	4											1	
		小計(1科目)		0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
		発シ	ワークショップファシリテーション	2通	2											2
			小計(1科目)		0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
専門教育科目			ビジネス入門	1前	2			10	3							
			経営基礎Ⅰ	1後	2			1								
			マーケティング基礎Ⅰ	1後	2			1								
			ミクロ経済学基礎Ⅰ	1後	2			2								
			会計基礎Ⅰ	1前	2			1								
			会計基礎Ⅱ	1後	2			1								
	リーディング開発入門演習Ⅰ		1前	2			4		2						2	
	リーディング開発入門演習Ⅱ		1後	2			4		2						2	
	小計(8科目)		16	0	0	11	3	2	0	0	2	0	0	2		
	専門基幹科目	経営基礎Ⅱ	2前	2			1									
経営戦略Ⅰ		2後	2			1										
経営組織Ⅰ		2後	2			1										
マーケティング基礎Ⅱ		2前	2			1										
流通論Ⅰ		2前	2			1										
流通論Ⅱ		2後	2			1										
統計学基礎演習Ⅰ		2前	2											1		
統計学基礎演習Ⅱ		2後	2											1		
ミクロ経済学基礎Ⅱ		2前	2			2										
マクロ経済学基礎Ⅰ		2前	2			2										
マクロ経済学基礎Ⅱ	2後	2			2											
財務会計Ⅰ	2前	2			1											
財務会計Ⅱ	2後	2			1											
原簿計算Ⅰ	2前	2			1											
原簿計算Ⅱ	2後	2			1											
リーディング開発基礎演習	2前	2			4		2						2			
小計(16科目)		32	0	0	9	3	2	0	0	2	0	0	2			
専門発展科目	経営戦略論Ⅱ	3前	2			1										
	経営組織論Ⅱ	3前	2			1										
	中小企業論	3前	2			1										
	現代経営事情	3前	2			1										
	国際経営論	3後	2			1										
	人的資源管理論	3後	2			1										

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数					専任教員等の配置					兼任・兼任担任		
			必修	選択	自由	教	授	准教授	講師	助教	助手				
教養教育科目	基礎セミナー	1前	1			3	1	1							
	論理的思考・文章表現	1前	1												
	ライフプランと自己実現	1後	2												
	課題解決ワークショップ	1後	1												
	小計(4科目)		4	1	0	7	2	1	0	0	0	1			
	情報基礎	1前	2												
	情報処理	1前	2												
	情報の分析と活用A	1後	2			1									
	情報の分析と活用B	1後	2												
	小計(4科目)		2	6	0	1	0	0	0	0	0	4			
英語	英語A(リスニング・スピーキング)	1通	2											5	
	英語B(リーディング・ライティング)	1通	2											5	
	アドバンスト英語A(ビジネス口頭表現)	2通	2											5	
	アドバンスト英語B(ビジネス文章表現)	2通	2											5	
	アドバンスト英語C(TOEIC)	3通	2											2	
	小計(5科目)		1	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
	初級外国語	フランス語Ⅰ(入門)	1前	2											1
		フランス語Ⅱ(表現)	1後	2											1
		応用フランス語(総合)	2通	2											1
		中国語Ⅰ(入門)	1前	2											1
中国語Ⅱ(表現)		1後	2											1	
応用中国語(総合)		2通	2											1	
ドイツ語Ⅰ(入門)		1前	2											1	
ドイツ語Ⅱ(表現)		1後	2											1	
応用ドイツ語(総合)		2通	2											1	
小計(17科目)			1	0	34	0	0	0							





(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

特になし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{125} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考				
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	<共用する他の学校> 共立女子短期大学 (収容定員400名) 法令上の必要面積： 4,000㎡ 共立女子高等学校 (収容定員1,080名) 面積基準：運動場とし て8,400㎡(中学校と の共用可) 共立女子第二高等学校 (収容定員720名) 面積基準：運動場とし て8,400㎡(中学校と の共用可) 共立女子中学校 (収容定員960名) 面積基準：運動場とし て8,400㎡ 共立女子第二中学校 (収容定員480名) 面積基準：運動場とし て6,000㎡				
	校 舎 敷 地	39,671.14 ㎡	12,862.50 ㎡	59,752.86 ㎡	112,286.50 ㎡					
	運 動 場 用 地	8,000.00 ㎡	3,000.00 ㎡	21,000.00 ㎡	32,000.00 ㎡					
	小 計	47,671.14 ㎡	15,862.50 ㎡	80,752.86 ㎡	144,286.50 ㎡					
	そ の 他	0 ㎡	72,582.93 ㎡	0 ㎡	72,582.93 ㎡					
	合 計	47,671.14 ㎡	88,445.43 ㎡	80,752.86 ㎡	216,869.43 ㎡					
(2) 校 舎	専 用	24,206.53 ㎡	43,954.38 ㎡	1,570.00 ㎡	69,730.91 ㎡	共立女子短期大学 法令上の必要面積：3,650㎡				
	(24,206.53 ㎡)	(43,954.38 ㎡)	(1,570.00 ㎡)	(69,730.91 ㎡)						
(3) 教 室 等	講 義 室	75室	演 習 室	49室	実験実習室	29室	情報処理学習施設	11室 (補助職員7人)	語学学習施設	3室 (補助職員0人)
	新設学部等の名称		室 数							
(4) 専任教員研究室		ビジネス学部 ビジネス学科		19 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点			
	ビジネス学部 ビジネス学科	351,353 [101,519] (351,353 [101,519])	1,784 [390] (1,784 [390])	32 [32] (32 [32])	2,823 (2,823)	31,795 (31,795)	1,714 (1,714)			
	計	351,353 [101,519] (351,353 [101,519])	1,784 [390] (1,784 [390])	32 [32] (32 [32])	2,823 (2,823)	31,795 (31,795)	1,714 (1,714)			
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数						
	6,637㎡	623		463,406						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要								
	959㎡	該当なし								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度		
		教員1人当り研究費等		350千円	図書購入費	3,415千円	8,039千円	4,000千円		
	共同研究費等		21,000千円	設備購入費	76,320千円	957千円	3,498千円			
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		1,290千円	1,140千円	1,140千円	1,140千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資産運用収入、雑収入等								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	共立女子大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
大学										東京都千代田区一ツ橋二丁目2番1号	
家政学部											
被服学科	4	90	-	360	学士(家政学)	1.03	1.14	-	昭和24 昭和24		
食物栄養学科	4	105	-	410	学士(家政学)	0.92	0.99	-	昭和41	東京都八王子市元八王子一丁目710番地	定員変更(10)
食物学専攻	4	55	-	210	学士(家政学)	0.82	0.87	平成30	昭和41		
管理栄養士専攻	4	50	-	200	学士(家政学)	1.04	1.12	-	昭和41		
建築・デザイン学科	4	100	-	390	学士(家政学)	1.01	1.13	平成30	平成19		定員変更(10)
児童学科		150	-	600	学士(家政学)	0.96	0.97	-	平成19		
文芸学部											
文芸学科	4	350	-	1400	学士(文芸学)	1.02	1.13	-	昭和28 平成19		
国際学部											
国際学科	4	250	-	1000	学士(国際学)	1.06	1.07	-	平成19 平成19		
看護学部											
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	0.99	1.04	-	平成25 平成25		
ビジネス学部											
ビジネス学科	4	150	-	150	学士(ビジネス学)	1.12	1.12	-	令和2 令和2		
大学院										東京都千代田区一ツ橋二丁目2番1号	
家政学研究科									昭和55 平成6		
人間生活学専攻	3	3	-	9	博士(学術)	0.99	0.66	-			
被服学専攻	2	8	-	16	修士(家政学)	0.43	0.37	-	昭和55		
食物学専攻	2	8	-	16	修士(家政学)	0.18	0.12	-	昭和55		
建築・デザイン専攻	2	8	-	16	修士(家政学)	0.18	0.12	-	平成23		
児童学専攻	2	8	-	16	修士(家政学)	0.12	0.25	-	平成23		
文芸学研究科									昭和41 平成27		
文芸学専攻	2	20	-	40	修士(文芸学)	0.32	0.20	-			
国際学研究科									平成23 平成23		
国際学専攻	2	15	-	30	修士(学術)	0.09	0.13	-			
看護学研究科									平成29 平成29		
看護学専攻	2	5	-	10	修士(看護学)	0.20	0.20	-			
大学の名称	共立女子短期大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
生活科学科	2	100	-	200	短期大学士(生活科学)	1.12	1.25	-	平成1	東京都千代田区一ツ橋二丁目2番1号	
文科	2	100	-	200	短期大学士(文科)	1.08	1.22	-	平成19		

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。  
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<ビジネス学部 ビジネス学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授 (学部長)	植田 和男 <令和2年4月>	ビジネス入門 ※ リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ マクロ経済学基礎Ⅰ マクロ経済学基礎Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 リーダーシップ開発応用演習 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文	専	教授 (学部長)	植田 和男 <令和2年4月>	ビジネス入門 ※ リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ マクロ経済学基礎Ⅰ マクロ経済学基礎Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 リーダーシップ開発応用演習 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	教授	葛西 和廣 <令和2年4月>	企業と社会の仕組み 経営基礎Ⅰ 経営戦略論Ⅱ 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文	専	教授	葛西 和廣 <令和2年4月>	企業と社会の仕組み 経営基礎Ⅰ 経営戦略論Ⅱ 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	教授	中山 健 <令和2年4月>	課題解決ワークショップ 企業と社会の仕組み ビジネス入門 ※ 経営戦略論Ⅰ 中小企業論 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文	専	教授	中山 健 <令和2年4月>	課題解決ワークショップ 企業と社会の仕組み ビジネス入門 ※ 経営戦略論Ⅰ 中小企業論 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	教授	井上 善博 <令和2年4月>	課題解決ワークショップ 企業と社会の仕組み ビジネス入門 ※ リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ 経営基礎Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 国際経営論 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文				
				専	教授	榎本 悟 <令和2年4月>	課題解決ワークショップ 企業と社会の仕組み ビジネス入門 ※ リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ 経営基礎Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 国際経営論 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	教授	小川 宏幸 <令和2年4月>	基礎ゼミナール 法律を学ぶ(概論) ビジネス入門 ※ コーポレート・ガバナンス ビジネスと法A ビジネスと法B 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文	専	教授	小川 宏幸 <令和2年4月>	基礎ゼミナール 法律を学ぶ(概論) ビジネス入門 ※ コーポレート・ガバナンス ビジネスと法A ビジネスと法B 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	教授	藤野 明彦 <令和2年4月>	マーケティング ビジネス入門 ※ リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ 流通論Ⅰ 流通論Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文	専	教授	藤野 明彦 <令和2年4月>	マーケティング ビジネス入門 ※ リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ 流通論Ⅰ 流通論Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ノダ セイ 野沢 誠治 <令和2年4月>
		基礎ゼミナール 課題解決ワークショップ 現代社会の諸課題(経済・産業) ビジネス入門 ※ 現代マーケティング事情 マーケティング・リサーチ マーケティング・コミュニケーション 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	教授	ヒガシ トシカズ 東 利 <令和2年4月>
		現代社会の諸課題(経済・産業) ビジネス入門 ※ マーケティング基礎Ⅰ マーケティング基礎Ⅱ 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	教授	ヤマザキ フカジュ 山崎 福壽 <令和2年4月>
		課題解決ワークショップ ビジネス入門 ※ ミクロ経済学基礎Ⅰ ミクロ経済学基礎Ⅱ 金融論 公共経済学A 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	教授	アライ コウキ 荒井 弘毅 <令和2年4月>
		経済を学ぶ ビジネス入門 ※ ミクロ経済学基礎Ⅰ ミクロ経済学基礎Ⅱ 国際貿易論 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	教授	ナハタ ヒロシ 南波 浩史 <令和2年4月>
		基礎ゼミナール 情報の分析と活用A マクロ経済学基礎Ⅰ マクロ経済学基礎Ⅱ 公共経済学B 国際金融論 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	教授	タケガキ 和夫 武田 和夫 <令和2年4月>
		ビジネス入門 ※ 会計基礎Ⅰ 会計基礎Ⅱ リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ 財務会計Ⅰ 財務会計Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 監査論 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	准教授	オホカワ ヒロシ 大川 洋史 <令和2年4月>
		基礎ゼミナール 経営組織論Ⅰ 経営組織論Ⅱ 現代経営事情 人的資源管理論 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	准教授	キムラヨシ ケイ 金城 敬太 <令和2年4月>
		ビジネス入門 ※ 統計学基礎演習Ⅰ 統計学基礎演習Ⅱ ビジネスとプログラミング ビッグデータ分析 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ノダ セイ 野沢 誠治 <令和2年4月>
		基礎ゼミナール 課題解決ワークショップ 現代社会の諸課題(経済・産業) ビジネス入門 ※ 現代マーケティング事情 マーケティング・リサーチ マーケティング・コミュニケーション 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	教授	ヒガシ トシカズ 東 利 <令和2年4月>
		現代社会の諸課題(経済・産業) ビジネス入門 ※ マーケティング基礎Ⅰ マーケティング基礎Ⅱ 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	教授	ヤマザキ フカジュ 山崎 福壽 <令和2年4月>
		課題解決ワークショップ ビジネス入門 ※ ミクロ経済学基礎Ⅰ ミクロ経済学基礎Ⅱ 金融論 公共経済学A 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	教授	アライ コウキ 荒井 弘毅 <令和2年4月>
		経済を学ぶ ビジネス入門 ※ ミクロ経済学基礎Ⅰ ミクロ経済学基礎Ⅱ 国際貿易論 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	教授	ナハタ ヒロシ 南波 浩史 <令和2年4月>
		基礎ゼミナール 情報の分析と活用A マクロ経済学基礎Ⅰ マクロ経済学基礎Ⅱ 公共経済学B 国際金融論 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	教授	タケガキ 和夫 武田 和夫 <令和2年4月>
		ビジネス入門 ※ 会計基礎Ⅰ 会計基礎Ⅱ リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ 財務会計Ⅰ 財務会計Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 監査論 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	准教授	オホカワ ヒロシ 大川 洋史 <令和2年4月>
		基礎ゼミナール 経営組織論Ⅰ 経営組織論Ⅱ 現代経営事情 人的資源管理論 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	准教授	キムラヨシ ケイ 金城 敬太 <令和2年4月>
		ビジネス入門 ※ 統計学基礎演習Ⅰ 統計学基礎演習Ⅱ ビジネスとプログラミング ビッグデータ分析 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	フガワ ケイジ 福澤 恵二 ＜令和2年4月＞
		課題解決ワークショップ ビジネス入門 ※ 会計基礎Ⅰ 会計基礎Ⅱ 現代金融・会計事情 会計演習A ファイナンス 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	准教授	コイズミ ユキ 小泉 友香 ＜令和2年4月＞
		ビジネス入門 ※ 原簿計算Ⅰ 原簿計算Ⅱ 会計演習B 管理会計Ⅰ 管理会計Ⅱ 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	講師	イヅマ ヨウタ 飯島 聡太郎 ＜令和2年4月＞
		基礎ゼミナール マーケティング 消費者行動論 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	講師	イワキ ナ 岩城 奈津 ＜令和2年4月＞
		ワークショップファシリテーション リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 リーダーシップ開発応用演習
専	講師	モリ リカ 森 理宇子 ＜令和2年4月＞
		ワークショップファシリテーション リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 リーダーシップ開発応用演習
兼任	教授	ムラカミ 昌弘 村上 昌弘 ＜令和2年4月＞
		リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 ファシリテーション基礎演習A ファシリテーション基礎演習B チームコーチング基礎演習A チームコーチング基礎演習B
兼任	教授	ムラカミ 隆 村上 隆 ＜令和2年4月＞
		リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 ファシリテーション基礎演習A ファシリテーション基礎演習B チームコーチング基礎演習A チームコーチング基礎演習B
兼任	教授	クマガイ ヒロ 熊谷 仁 ＜令和2年4月＞
		化学への招待
兼任	教授	カガミ ヒロシ 川上 浩 ＜令和2年4月＞
		生物学への招待
兼任	教授	シマス 明子 清水 明子 ＜令和2年4月＞
		英語B (リーディング・ライティング) アドバンスト英語C (TOEIC)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	フガワ ケイジ 福澤 恵二 ＜令和2年4月＞
		課題解決ワークショップ ビジネス入門 ※ 会計基礎Ⅰ 会計基礎Ⅱ 現代金融・会計事情 会計演習A ファイナンス 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	准教授	コイズミ ユキ 小泉 友香 ＜令和2年4月＞
		ビジネス入門 ※ 原簿計算Ⅰ 原簿計算Ⅱ 会計演習B 管理会計Ⅰ 管理会計Ⅱ 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	講師	イヅマ ヨウタ 飯島 聡太郎 ＜令和2年4月＞
		基礎ゼミナール マーケティング 消費者行動論 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	講師	イワキ ナ 岩城 奈津 ＜令和2年4月＞
		ワークショップファシリテーション リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 リーダーシップ開発応用演習
専	講師	モリ リカ 森 理宇子 ＜令和2年4月＞
		ワークショップファシリテーション リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 リーダーシップ開発応用演習
兼任	教授	ムラカミ 昌弘 村上 昌弘 ＜令和2年4月＞
		リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 ファシリテーション基礎演習A ファシリテーション基礎演習B チームコーチング基礎演習A チームコーチング基礎演習B
兼任	教授	ムラカミ 隆 村上 隆 ＜令和2年4月＞
		リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 ファシリテーション基礎演習A ファシリテーション基礎演習B チームコーチング基礎演習A チームコーチング基礎演習B
兼任	教授	クマガイ ヒロ 熊谷 仁 ＜令和2年4月＞
		化学への招待
兼任	教授	カガミ ヒロシ 川上 浩 ＜令和2年4月＞
		生物学への招待
兼任	教授	シマス 明子 清水 明子 ＜令和2年4月＞
		英語B (リーディング・ライティング) アドバンスト英語C (TOEIC)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	フカガ イチヨ 福田 一郎 <令和2年4月> 数学への招待 物理学への招待
兼任	教授	オシ ケイジ 堀 啓二 <令和2年4月> 教養総合ワークショップA
兼任	教授	フカガ ケイイチヨ 深津 謙一郎 <令和2年4月> 論理的思考・文章表現 ライフプランと自己実現 文学をひらく
兼任	教授	ナカモト キクヘイ 中本 基平 <令和2年4月> 英語B (リーディング・ライティング)
兼任	教授	クリス・ホスキンス <令和2年4月> 英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)
兼任	教授	タケチ ナキ 田口 亜紀 <令和2年4月> フランス語 I (入門) 応用フランス語 (総合)
兼任	教授	ムライ ハコト 村井 華代 <令和3年4月> 現代社会の諸課題 (文化・芸術)
兼任	教授	クニノ ケンジ 園分 建志 <令和2年4月> 中国語 II (表現)
兼任	教授	ツカ ゲンジュン 曹 元春 <令和3年4月> 応用中国語 (総合)
兼任	教授	オシ シン 堀 新 <令和2年4月> 日本の歴史を学ぶ
兼任	教授	キタムラ ヲヨイ 北村 弥生 <令和2年4月> 情報処理 現代社会の諸課題 (メディア・表現)
兼任	教授	フカガ オサム 福田 收 <令和2年4月> 情報基礎 情報処理 哲学とは何か 倫理学とは何か
兼任	教授	フジタ タケヒサ 藤田 岳久 <令和2年4月> 情報処理 情報の分析と活用B
兼任	教授	サトウ ユウイチ 佐藤 雄一 <令和2年4月> 基礎日本語 (留学生対象) 応用日本語 (留学生対象)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	フカガ イチヨ 福田 一郎 <令和2年4月> 数学への招待 物理学への招待
兼任	教授	オシ ケイジ 堀 啓二 <令和2年4月> 教養総合ワークショップA
兼任	教授	フカガ ケイイチヨ 深津 謙一郎 <令和2年4月> 論理的思考・文章表現 ライフプランと自己実現 文学をひらく
兼任	教授	ナカモト キクヘイ 中本 基平 <令和2年4月> 英語B (リーディング・ライティング)
兼任	教授	クリス・ホスキンス <令和2年4月> 英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)
兼任	教授	タケチ ナキ 田口 亜紀 <令和2年4月> フランス語 I (入門) 応用フランス語 (総合)
兼任	教授	ムライ ハコト 村井 華代 <令和3年4月> 現代社会の諸課題 (文化・芸術)
兼任	教授	クニノ ケンジ 園分 建志 <令和2年4月> 中国語 II (表現) <b>応用中国語 (総合)</b>
兼任	教授	オシ シン 堀 新 <令和2年4月> 日本の歴史を学ぶ
兼任	教授	キタムラ ヲヨイ 北村 弥生 <令和2年4月> 情報処理 現代社会の諸課題 (メディア・表現)
兼任	教授	フカガ オサム 福田 收 <令和2年4月> 情報基礎 情報処理 哲学とは何か 倫理学とは何か
兼任	教授	フジタ タケヒサ 藤田 岳久 <令和2年4月> 情報処理 情報の分析と活用B
兼任	教授	サトウ ユウイチ 佐藤 雄一 <令和2年4月> 基礎日本語 (留学生対象) 応用日本語 (留学生対象)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	阿部 圭子 ＜令和2年4月＞ 英語B (リーディング・ライティング)
兼任	教授	石井 久生 ＜令和2年4月＞ 人間と地理を学ぶ 自然と地理を学ぶ
兼任	教授	立松 美也子 ＜令和2年4月＞ 法律を学ぶ (日本国憲法)
兼任	教授	辻山 ゆき子 ＜令和2年4月＞ 社会を学ぶ
兼任	教授	寺地 功次 ＜令和2年4月＞ 国際関係を学ぶ
兼任	教授	橋川 俊樹 ＜令和2年4月＞ 自己開発
兼任	教授	細野 豊樹 ＜令和3年4月＞ 現代社会の諸課題 (環境・科学)
兼任	教授	クレイグ・ウィリアム・マーク ＜令和2年4月＞ 英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)
兼任	教授	アンソニー・ヒュー・ミルズ ＜令和2年4月＞ 英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)
兼任	教授	八十田 博人 ＜令和2年4月＞ 政治を学ぶ
兼任	教授	李 錦強 ＜令和2年4月＞ 中国語 I (入門)
兼任	教授	田口 理恵 ＜令和2年4月＞ 地域社会と家族を学ぶ 現代社会の諸課題 (生活・地域)
兼任	准教授	滝沢 明子 ＜令和2年4月＞ フランス語 II (表現) 女性の生き方と社会

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	阿部 圭子 ＜令和2年4月＞ 英語B (リーディング・ライティング)
兼任	教授	石井 久生 ＜令和2年4月＞ 人間と地理を学ぶ 自然と地理を学ぶ
兼任	教授	立松 美也子 ＜令和2年4月＞ 法律を学ぶ (日本国憲法)
兼任	教授	辻山 ゆき子 ＜令和2年4月＞ 社会を学ぶ
兼任	教授	寺地 功次 ＜令和2年4月＞ 国際関係を学ぶ
兼任	教授	橋川 俊樹 ＜令和2年4月＞ 自己開発
兼任	教授	細野 豊樹 ＜令和3年4月＞ 現代社会の諸課題 (環境・科学)
兼任	教授	クレイグ・ウィリアム・マーク ＜令和2年4月＞ 英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)
兼任	教授	アンソニー・ヒュー・ミルズ ＜令和2年4月＞ 英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)
兼任	教授	八十田 博人 ＜令和2年4月＞ 政治を学ぶ
兼任	教授	李 錦強 ＜令和2年4月＞ 中国語 I (入門)
兼任	教授	田口 理恵 ＜令和2年4月＞ 地域社会と家族を学ぶ 現代社会の諸課題 (生活・地域)
兼任	准教授	関見 さえ ＜令和2年4月＞ フランス語 II (表現) 女性の生き方と社会



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	フクマ ノブヒロ 福岡 伸洋 ＜令和2年4月＞
		芸術をひらく
兼任	准教授	村岡 リナ 大島 十二愛 ＜令和2年4月＞
		情報処理
兼任	准教授	ニシムラ めぐみ 西村 めぐみ ＜令和4年4月＞
		コンプライアンス経営論 起業と会計 企業評価論
兼任	准教授	リリアン・スウェイン ＜令和2年4月＞
		英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)
兼任	講師	サラ・リネー・アサダ ＜令和2年4月＞
		英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)
兼任	講師	カノチ シュウイチ 罇淵 秀一 ＜令和2年4月＞
		世界の歴史を学ぶ
兼任	教授	フジタ マサ 藤田 雅夫 ＜令和4年4月＞
		消費者行動論
兼任	講師	イチノエ ナホ 一前 春子 ＜令和2年4月＞
		心理を学ぶ
兼任	講師	ニシムラ 厚子 西村 厚子 ＜令和2年4月＞
		英語B (リーディング・ライティング)
兼任	講師	ナカノ マサヒコ 中島 早苗 ＜令和2年4月＞
		健康スポーツ実習A 健康スポーツ実習B
兼任	講師	タケノコ 達成 鶴田 達成 ＜令和2年4月＞
		英語B (リーディング・ライティング) アドバンスト英語C (TOEIC)
兼任	講師	イシイ トシコ 石井 壽子 ＜令和2年4月＞
		ドイツ語 I (入門) ドイツ語 II (表現) 応用ドイツ語 (総合)
兼任	講師	イシイ トシコ 石井 壽子 ＜令和2年4月＞
		ドイツ語 I (入門) ドイツ語 II (表現) 応用ドイツ語 (総合)
兼任	講師	イシイ トシコ 石井 壽子 ＜令和2年4月＞
		ドイツ語 I (入門) ドイツ語 II (表現)
兼任	講師	ハシガキ ヨシ 長谷川 泰 ＜令和2年4月＞
		アラビア語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	フクマ ノブヒロ 福岡 伸洋 ＜令和2年4月＞
		芸術をひらく
兼任	准教授	村岡 リナ 大島 十二愛 ＜令和2年4月＞
		情報処理
兼任	准教授	ニシムラ めぐみ 西村 めぐみ ＜令和4年4月＞
		コンプライアンス経営論 起業と会計 企業評価論
兼任	准教授	リリアン・スウェイン ＜令和2年4月＞
		英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)
兼任	講師	サラ・リネー・アサダ ＜令和2年4月＞
		英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)
兼任	講師	カノチ シュウイチ 罇淵 秀一 ＜令和2年4月＞
		世界の歴史を学ぶ
兼任	教授	フジタ マサ 藤田 雅夫 ＜令和4年4月＞
		消費者行動論
兼任	講師	イチノエ ナホ 一前 春子 ＜令和2年4月＞
		心理を学ぶ
兼任	講師	ニシムラ 厚子 西村 厚子 ＜令和2年4月＞
		英語B (リーディング・ライティング)
兼任	講師	ナカノ マサヒコ 中島 早苗 ＜令和2年4月＞
		健康スポーツ実習A 健康スポーツ実習B
兼任	講師	タケノコ 達成 鶴田 達成 ＜令和2年4月＞
		英語B (リーディング・ライティング) アドバンスト英語C (TOEIC)
兼任	講師	イシイ トシコ 石井 壽子 ＜令和2年4月＞
		ドイツ語 I (入門) ドイツ語 II (表現) 応用ドイツ語 (総合)
兼任	講師	イシイ トシコ 石井 壽子 ＜令和2年4月＞
		ドイツ語 I (入門) ドイツ語 II (表現) 応用ドイツ語 (総合)
兼任	講師	イシイ トシコ 石井 壽子 ＜令和2年4月＞
		ドイツ語 I (入門) ドイツ語 II (表現)
兼任	講師	ハシガキ ヨシ 長谷川 泰 ＜令和2年4月＞
		アラビア語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	カノ 伸 長野 伸 <令和2年4月>	兼任	講師	カノ 伸 長野 伸 <令和2年4月>
		イタリア語			イタリア語
兼任	講師	フジタ 大治 福田 大治 <令和2年4月>	兼任	講師	フジタ 大治 福田 大治 <令和2年4月>
		スペイン語Ⅰ(入門) スペイン語Ⅱ(表現)			スペイン語Ⅰ(入門) スペイン語Ⅱ(表現)
			兼任	講師	シマ 巧 清水 慎 <令和2年4月>
					世界の歴史を学ぶ

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
  - ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください)。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

**【令和2年度】**

- ・井上善博教授の就任辞退により、榎本悟教授に変更（令和2年2月教員審査済）。
- ・曹元春兼担教授の就任辞退により、國分建志兼担教授の担当授業科目追加（応用中国語（総合））。
- ・滝沢明子兼担教授の就任辞退により、岡見さえ兼担教授に変更（フランス語Ⅱ（表現）、女性の生き方と社会）。
- ・鱈淵秀一兼担講師の就任辞退により、清水領兼任講師に変更（世界の歴史を学ぶ）。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
12	4	3	0	19	2	12	4	3	0	19	2
(12)	(4)	(3)	(0)	(19)	(2)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
12	4	3	0	19	2	12	4	3	0	19	2
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	4 名	6 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{19} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{4}{19} = \boxed{21.05} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{2}{2} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	井上 善博	R1.9	必修	課題解決ワークショップ	①	R1.9病気加療のため就任辞退（2）			
				選択	企業と社会の仕組み	①				
				必修	ビジネス入門	①				
				必修	リーダーシップ開発入門演習Ⅰ	①				
				必修	リーダーシップ開発入門演習Ⅱ	①				
				必修	経営基礎Ⅱ	①				
				必修	リーダーシップ開発基礎演習	①				
				選択	国際経営論	①				
				必修	3年ゼミナール	①				
				必修	4年ゼミナール	①				
			必修	卒業論文	①					
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
1	人	必修	9	科目	必修	9	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	11	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		なし								
合計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
1	人	必修	9	科目	必修	9	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	11	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{19} = 5.26 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>井上善博教授の就任辞退に対しては、榎本悟教授がAO教員審査を受審し、井上善博教授が担当予定であった授業科目全てにおいて「可」の判定を受けており、授業の実施に支障はない。          学生に対しては、教員一覧をホームページ上に掲載するとともに、シラバス及び期首のガイダンス時に周知している。</p>
--

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時  (令和元年)	1. 数学の基礎学力が不十分な学生に対する「数学補習プログラム」の実施に当たっては、経済学の学修に必要な数学の内容にするとともに、非常勤講師に委ねるだけでなく、当該学部の専任教員が責任を持って関わる運勢体制とすること。	別紙参照  (2)	別紙参照  (2)
	2. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	本学の通常の定年を超えて任用される教授は開設時(2020年度)4人、学年進行終了年度(2023年度)まで6人いる。これについては、「学校法人共立女子学園定年規程」第3条第1項並びに「学校法人共立女子学園嘱託職員規程」第5条第4項に基づき専任教員として任用されるものであり、本学部の学年進行終了年度(いわゆる完成年度)まで雇用されるものである。  (2)	履行中  履行中

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <ビジネス学部 ビジネス学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>・面接授業を実施する。            ・その他、kyonet（共立教育ネットワークシステム）のLMS（学習管理システム：Learning Management System）機能を適宜活用し、教材・課題の配信、提出物の管理、学修の進捗状況の把握等をしながら実施する。</p>	<p>緊急事態宣言を受け、当初4月9日（木）より開始としていた授業を、5月4日（月）からの開始に変更し、各曜日15回分の授業時間を確保している。            授業は、kyonet（共立教育ネットワークシステム）のLMS（学習管理システム：Learning Management System）機能を活用した遠隔授業を実施する。なお、オンデマンド型の遠隔授業を中心に展開しながら、授業の特性に応じてウェブ会議システム等を使用した同時双方向型も取り入れる。            遠隔授業においては、①学修内容の提示（動画やパワーポイント資料等）、②到達度確認（LMS機能での課題提出やミニテスト、リアクションペーパーに回答等）、③フィードバック（提出課題へのコメント入力、テストの回答解説等）を行うことを徹底し、面接授業に相当する教育効果を担保する。            また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一斉に実施する定期試験等を見直し、レポート等の課題提出など、到達目標に応じた適切な成績評価手法を選択し、成績評価手法を変更する際にはシラバスを更新し、学生に対しては丁寧な説明を行った。            上記の方法により、授業（事前事後学修含む）の実施に関する十分な学修時間と学修の質を確保している。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>全学FD委員会を設置している。            当該委員会は、大学院・大学・短期大学のもとに置かれており、副学長が委員長となり、大学各学部並びに短期大学から選出された委員、教務課統括課長、情報センター事務室統括室長、図書課統括課長、教学系事務職員若干名により構成されている。            また、ビジネス学部におけるFDは、全学FD委員会での検討を受けて、学部FD委員が中心となり、学部内におけるFDの推進等を、学部長・学部長補佐・主任と連携を取りながら実施する。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>全学FD委員会は、令和2年度は以下の通りの開催を予定している。ビジネス学部からは1名が参加する。            開催予定（5/18、6/15、7/20、9/21、11/16、12/21、1/18、2/15）</p>
--



c 委員会の審議事項等

- ・FDの企画に関すること
- ・FDの実施に関すること
- ・FDの点検・評価に関すること
- ・FDの改善に関すること
- ・授業評価アンケートに関すること
- ・その他のFD推進に関すること

② 実施状況

a 実施内容

- ・授業方法、成績評価（ルーブリック等）に関する研修会
- ・企業関係者、地方自治体、高校教員、教員（専任・非常勤）相互の授業見学会
- ・シラバスの第三者チェックと項目の見直し検討
- ・CAP制の見直し
- ・GPAの分析と活用

b 実施方法

- ・教員（非常勤講師含む）を対象とした研修会を開催。外部講師を招聘した講演会、模擬授業、グループワーク、ディスカッション等を実施し、授業内容や授業方法の改善に役立てる。
- ・授業見学会、毎年度6月に開催。2019年度からは11月に教職員（非常勤講師含む）のみで開催。専任教員は原則として全員参加。
- ・その他、全学FD委員会での検討を受けて、各学部長のもとで実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・2019年9月20日に、「ルーブリックの効果的な活用方法について」をテーマにFD研修会を実施した。54名の教員が参加した。
- ・2019年6月および11月に、授業見学会を実施した。6月の授業見学会は137名、11月の授業見学会には120名の教員が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ルーブリック作成マニュアルを整備し、教員に周知し、2020年度シラバスよりルーブリックの運用を開始した。
- ・授業見学会については、教員より報告書の提出を求め、自身の授業の改善に繋がるよう意識の定着を図った。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・前後期に各1回、実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・結果については、各授業担当者に配付するとともに、各授業担当者が所感を付し、学内ネットワークを通じて一定範囲を教員及び学生に公表している。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

共立女子大学ビジネス学部は、多様な人材を求める社会ニーズの高まりと、更なる女性の社会進出と活躍の場の拡大はもとより、企業等でリーダー層として働く女性の増加を強く求めるようになった社会の要請に対応し、我が国の持続的成長に貢献することを目的として設置したものであり、「ビジネスの場で活用できる知識・技能と必要な教養を身に付け、他者と協働してリーダーシップを発揮できる人材を養成する。」ことを目的としている。

具体的には、現代社会の諸変化に対応し力強く邁進する企業、公的部門、NPO法人等、ビジネスを大きく包摂するフィールドで活躍できる女性を輩出することであり、ビジネスの現場で、自分らしくリーダーシップを発揮し、将来、リーダー層に成長していく女性の育成を特色としている。

ビジネス学部においては、開設初年度において、教育課程を設置計画通り実施し、上記のような学部の理念・目的・特色の実現に努めている。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

・ 2025年4月公表予定

###### b 公表方法

・ 大学ホームページ上に公開予定

##### ③ 認証評価を受ける計画

・ 2024年度に評価機関（(財)大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。